



さかな はな 魚には鼻はあるの

さかな はな 魚は、みんな鼻をもっている

さかな はな にんげん たか はな はな あな
魚は、人間のように高い鼻はもっていませんが、鼻の穴がついています。サメやエイの
なかま くち まえ ほう はな あな いが い さかな め まえ
仲間は、口の前の方に二つの鼻の穴があいています。それ以外の魚は、たいてい、目の前の
ほう ぜんご こ なら はな あな さゆう
方に、前後に2個ずつ並んだ鼻の穴が、左右にそれぞれあいています。

もの においがとけこんでいる みずが ぜんご なら はな あな いっぽう はい
物のおいがとけこんでいる水が、前後に二つ並んだ鼻の穴の一方から入って、もう一方
あな で はな なか かんかくさいぼう
の穴から出ていくようになっているのです。このとき、鼻の中の感覚細胞が、においを感じ
とるのです。

さかな きけん し 魚はにおいで、えさや危険を知る

サメやウナギは、わずかな血のにおいでも、すぐ集まってきます。ナマズやライギョは、
カエルやエビの体液をちょっと流すと、かくれがから出てきます。

コイの仲間は、群の中でけがをした仲間が現れると、その傷口から出るもののおいを感じ
じとって、いっせいににげ出すそうです。

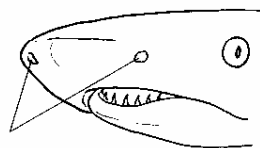
サケが、海から、生まれた川にもどってくるのも、川のおいを覚えていたためといわれ
ています。

みず なか とお み みず なか さかな め
水の中は、あまり遠くまで見えませんし、いつもどろ水の中でくらしている魚ほど、目は
あまりよく見えません。その分だけ、においにはびん感です。（監修・安部 義孝）

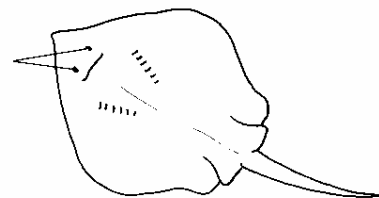
魚の鼻の穴



スズキ



サメ



エイ

